



しづおか 県民児童協だより

〔題字：第54代静岡県知事 石川嘉延 書〕

24

第24号
平成24年9月1日発行

編集発行／静岡県民生委員児童委員協議会 〒420-8670 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県社会福祉協議会内 054-254-5224 FAX 054-251-7508

東日本大震災に学ぶ、 民生委員児童委員活動



中央：身振り手振りを交えて話す平井昌子 岩沼市民生委員児童委員協議会副会長



真剣な眼差しで平井副会長の講話を聞く地域福祉部会の各委員

袋井市民生委員児童委員協議会は5つの法定地区民児童委員10名を含む）となっています。また、本協議会では6つの専門部会があり、部会活動による専門的な調査研究活動の推進に努めています。なかでも地域福祉部会では、地域社会の安全確保に向けて「大震災などの非常時にできること、しなければいけないことは何か？」を年間テーマに研究活動を実施しました。

平成22年に宮城県岩沼市議会が本市の耐震対策事業を行っている、岩沼市の民生委員児童委員協議会副会長平井昌子様をお招きし、震災後の「地域の見守り活動」「要援護者の支援」など、実際の活動についての講話や意見交換などの研修を実施しました。

研修は本年1月26日に開催され、当日は地域福祉部会の部会員以外の委員も多数出席いたしました。

まず、震災直後では民生委員の安否確認もできない状態であり、少なくとも自分の地域は自分が責任を持つて見守りや要援護者等の把握をしなければならないこと。また、震災から日数が経過しても地域で困ったことに対応するのが民生委員の責務であることなど、具体的な体験をもとに講話をいただきました。

いまだ震災の傷も癒えず、復興に日々邁進されている貴重な時間を割いて袋井までお越しいただいた平井様に感謝申し上げますとともに、東海地震等に備える本協議会の民生委員児童委員にとっても大きな財産となりました。会員の交流を深め、草の根レベルの復興支援に繋げていきたいと考えております。

袋井市民生委員児童委員協議会
安間邦子

平成24年度静岡県民生委員児童委員協議会総会あいさつ

会長 天野 隆玄

日時 平成24年6月4日（月）
場所 グランシップ会議ホール「風」

本日は、皆様方には大変御多用のところ御出席いただき誠にありがとうございます。また、日頃より各市町の民生委員児童委員協議会の会長として全民児連並びに県民児協の事業推進に御理解と御協力下さいまして厚く御礼申しあげます。

また、本日は公務御多用の中、大須賀静岡県副知事、静岡県議会より小楠議長、静岡県社協からは神尾常務理事、共同募金からは数原常務理事及び静岡県各健康福祉センターより各所長様に御出席を賜りまして、高座からではござりますが、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の3月の東日本大震災の発生から1年以上が経過致しました。

本当の戦いになるのであろうと思

ましたが、4月現在、未だに

344,000人という方々が、

全国各地で不便な避難生活を送ら

れています。全民児連でも、平成23年度に引き続きまして各県民児協と連携を取りつつ、被災地の民児協の復旧復興及び全国各地で避難されている方々の支援が重要

であると認識いたしまして、先だつての評議員会でも皆様へお願い申

し上げた次第でございます。一説

によりますと、朝日新聞の7月21

日に掲載がありました。復興に

対しては10年間23兆円位の費用が

必要ではなかろうかとの記事も載つ

ておりました。当事者にとりまし

ては、まだまだ長く、これからが

かかると同時に、震災ではございませんが、台風12号により和歌山県でも1人の民生委員児童委員が犠牲となつております。この方も台風が来る前に自分

の担当地区の方から、水道の漏水

がある云々と相談を受けたので、

委員児童委員協議会は支援させて

いただくと同時に、会長様皆様方

にも重ねて御協力をお願い申し上

げる次第でございます。

また、先月の16日には岩手県、

17日には福島県におきまして、犠牲者となられました民生委員児童委員の追悼の会が行われました。

私も岩手県・福島県共参列して参

りましたが、皆様御存じのとおり、

岩手県では27人、福島県では7人、

宮城県では22人の計56人の民生委員児童委員の尊い命が奪われまし

た。被害に遭われた方々は、安否

確認・避難誘導・車に乗せて要支

援者を避難する途中に波にのまれて、自分も共に犠牲になられた方々の話し等々でした。ちなみに、震

災ではございませんが、台風12号

により和歌山県でも1人の民生委員児童委員が犠牲となつております。この方も台風が来る前に自分

の担当地区の方から、水道の漏水

がある云々と相談を受けたので、

委員児童委員協議会は支援させて

いただくと同時に、会長様皆様方

にも重ねて御協力をお願い申し上

げる次第でございます。

また、先月の16日には岩手県、

17日には福島県におきまして、犠

牲者となられました民生委員児童

委員の追悼の会が行われました。

また、今年の3月には被災された

3県の民児協の協力を得まして、

津波被害の大きかつた沿岸部の市・

町・村の民児協における発災から

の活動実績記録を取り纏めさせて

いただき、犠牲となられた民生委員児童委員の方々の思いに応える

べく、今回の経験を今後の要支援

活動に活かせるように、これを留

届いています。誠にありがとうございました。

また、民生委員児童委員の制度の報道につきましては、地方分権改革の一環として、委員の定数や推薦の方等に対する民生委員法の一部改正の分権委託に関する議員会でお願いをして参った次第でございます。皆様には、発災後すぐに義捐金のお願い申し上げました。この義捐金は会長さんとしていろいろ御寄進を頂いたと思いまますが、おかげを持ちまして、1億8713万円余りの善意が集まりました。また、前回御報告申し上げましたとおり、全壊・半壊等々のランクを定めさせていただきまして、今年の4月上旬に3回目の配分を持ちまして、すべて終了させて頂きました。皆様の尊い義捐金がそれぞれの地域の皆様に



届いています。誠にありがとうございました。

また、民生委員児童委員の制度の報道につきましては、地方分権改革の一環として、委員の定数や推薦の方等に対する民生委員法の一部改正の分権委託に関する議員会でお願いをして参った次第でございます。皆様には、発災後すぐに義捐金のお願い申し上げました。この義捐金は会長さんとしていろいろ御寄進を頂いたと思いまますが、おかげを持ちまして、1億8713万円余りの善意が集まりました。また、前回御報告申し上げましたとおり、全壊・半壊等々のランクを定めさせていただきまして、今年の4月上旬に3回目の配分を持ちまして、すべて終了させて頂きました。皆様の尊い義捐金がそれぞれの地域の皆様に

届いています。誠にありがとうございました。

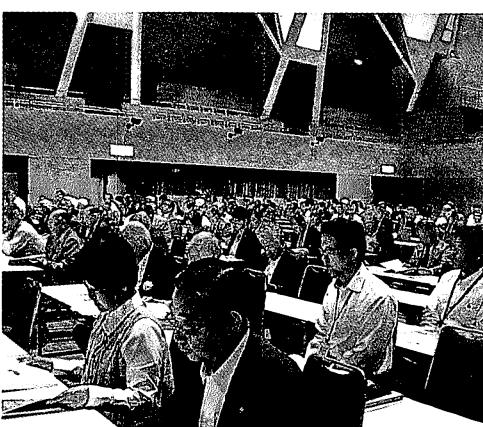
また、民生委員児童委員の制度の報道につきましては、地方分権改革の一環として、委員の定数や推薦の方等に対する民生委員法の一部改正の分権委託に関する議員会でお願いをして参った次第でございます。皆様には、発災後すぐに義捐金のお願い申し上げました。この義捐金は会長さんとしていろいろ御寄進を頂いたと思いまますが、おかげを持ちまして、1億8713万円余りの善意が集まりました。また、前回御報告申し上げましたとおり、全壊・半壊等々のランクを定めさせていただきまして、今年の4月上旬に3回目の配分を持ちまして、すべて終了させて頂きました。皆様の尊い義捐金がそれぞれの地域の皆様に

届いています。誠にありがとうございました。

また、民生委員児童委員の制度の報道につきましては、地方分権改革の一環として、委員の定数や推薦の方等に対する民生委員法の一部改正の分権委託に関する議員会でお願いをして参った次第でございます。皆様には、発災後すぐに義捐金のお願い申し上げました。この義捐金は会長さんとしていろいろ御寄進を頂いたと思いまますが、おかげを持ちまして、1億8713万円余りの善意が集まりました。また、前回御報告申し上げましたとおり、全壊・半壊等々のランクを定めさせていただきまして、今年の4月上旬に3回目の配分を持ちまして、すべて終了させて頂きました。皆様の尊い義捐金がそれぞれの地域の皆様に

届いています。誠にありがとうございました。

また、民生委員児童委員の制度の報道につきましては、地方分権改革の一環として、委員の定数や推薦の方等に対する民生委員法の一部改正の分権委託に関する議員会でお願いをして参った次第でございます。皆様には、発災後すぐに義捐金のお願い申し上げました。この義捐金は会長さんとしていろいろ御寄進を頂いたと思いまますが、おかげを持ちまして、1億8713万円余りの善意が集まりました。また、前回御報告申し上げましたとおり、全壊・半壊等々のランクを定めさせていただきまして、今年の4月上旬に3回目の配分を持ちまして、すべて終了させて頂きました。皆様の尊い義捐金がそれぞれの地域の皆様に

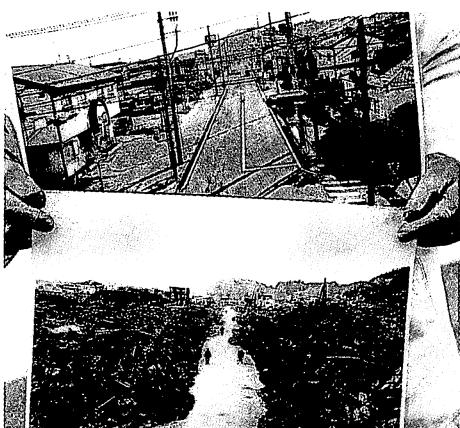


届いています。誠にありがとうございました。

また、民生委員児童委員の制度の報道につきましては、地方分権改革の一環として、委員の定数や推薦の方等に対する民生委員法の一部改正の分権委託に関する議員会でお願いをして参った次第でございます。皆様には、発災後すぐに義捐金のお願い申し上げました。この義捐金は会長さんとしていろいろ御寄進を頂いたと思いまますが、おかげを持ちまして、1億8713万円余りの善意が集まりました。また、前回御報告申し上げましたとおり、全壊・半壊等々のランクを定めさせていただきまして、今年の4月上旬に3回目の配分を持ちまして、すべて終了させて頂きました。皆様の尊い義捐金がそれぞれの地域の皆様に

届いています。誠にありがとうございました。

また、民生委員児童委員の制度の報道につきましては、地方分権改革の一環として、委員の定数や推薦の方等に対する民生委員法の一部改正の分権委託に関する議員会でお願いをして参った次第でございます。皆様には、発災後すぐに義捐金のお願い申し上げました。この義捐金は会長さんとしていろいろ御寄進を頂いたと思いまますが、おかげを持ちまして、1億8713万円余りの善意が集まりました。また、前回御報告申し上げましたとおり、全壊・半壊等々のランクを定めさせていただきまして、今年の4月上旬に3回目の配分を持ちまして、すべて終了させて頂きました。皆様の尊い義捐金がそれぞれの地域の皆様に



東日本大震災から1年が経つた今でも、仮設住宅で暮らすことを余儀なくされている被災者は26万人と言われています。被災された方々のために何か自分に出来ることはないかと誰もが思っていることだと思います。

仮設住宅で暮らす方々と交流し、何か支援できないか…、そんな計画が、私達青葉台地区で持ち上がったのは、昨年秋。それから幾度も会合を重ねた結果、

前日から、600食余りのちらし寿司作りに豚汁作りと、多くの方々の被災地への心の輪となっていました。また、広く市民にも呼びかけを行ったところ、34団体・個人様からの寄付金や大型トラック2台分の支援物資等、ツアーパートナー参加者は91名となりました。

神戸・青葉台民児協をはじめ、今泉民児協様、富士市社会福祉協議会様からも多大な御支援をいただきました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

私も地区民児協の一員として支援ツアーパートナーに参加させていただきました。

当初は、訪問先の民生委員さ

3月3日のひな祭りの日に、昼食を食べながら歌声や影絵を楽しんでもらおう!そして、支援物資をお土産に持つて帰つていただこう!そんな計画が固まりました。

前日から、600食余りのちらし寿司作りに豚汁作りと、多くの方々の被災地への心の輪となっていました。また、広く市民にも呼びかけを行ったところ、34団体・個人様からの寄付金や大型トラック2台分の支援物資等、ツアーパートナー参加者は91名となりました。

神戸・青葉台民児協をはじめ、今泉民児協様、富士市社会福祉協議会様からも多大な御支援をいただきました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

私も地区民児協の一員として支援ツアーパートナーに参加させていただきました。

当初は、訪問先の民生委員さ

んとも交流を持ちたいと考えましたが、とてもそれどころではないという事で残念ながら実現出来ませんでした。

出発当日、3月3日の東北地方は大雪に見舞われ、東北自動車道は大渋滞。結局、現地到着は予定より6時間遅れとなってしまい、現地での打ち合わせや準備が出来ないまま、「南三陸ひな祭り交流会」がスタートしました。

ちらし寿司の配膳班、歌声班、影絵班、子供班、豚汁調理班、コーヒーお茶班そして支援物資配布班

班とそれぞれが皆、自分の分担を一生懸命果たしました。何分にも、ぶつけ本番なので、予想していたとおりにはいきませんでした。

特に支援物資配布には苦労したようでした。こちらの思いと、仮設住宅に住む方々の思いのくい違い…しかし、それが被災地の現実であり、支援活動の難しさなのだと感じました。

私は、このままではいけません。地域コミュニティの強化だと思う」そう話しておられました。私達民生委員児童委員がかかわっていけるのは、この辺りではないかと感じております。「災害時一人も見逃さない運動」に取り組んでいきたいと思います。



① 「南三陸ひな祭り交流会」に参加して

富士市神戸・青葉台民児協員児童委員協議会 吉田 裕幸

私は、コーヒー班の一員でした

が、「コーヒーが美味しい」と言つ

ておかわりをしてもらつたのが嬉

しかつたです。また、一人の女性

が「反対の立場になつた時に、自

分たちにこれだけのことが出来る

でしようか…」とおっしゃつてい

たことも印象的でした。

東海地震が懸念される静岡県に

とつては他人事ではなく、まさに

自分たちの問題です。支援ツアーパー

トに参加した一人が「物質的な備え

は比較的容易に出来る。容易に出

来ないのは、地域コミュニティ

の強化だと思う」そう話しておら

れました。私達民生委員児童委員

がかかわっていけるのは、この辺

りではないかと感じております。

活動目標でもあります「災害時一

人も見逃さない運動」に取り組ん

災から約1年6ヶ月を経過し、被災地である岩手県、宮城県、福島県においては、今尚、地域再生、生活再建に向けて、復興の道を歩み続けています。本紙面は、県内の社会福祉協議会による支援活動を通じて見えてきた課題等の一部を紹介します。

支援活動を通じて最も大切にした視点

社会福祉協議会が支援活動を通じて最も大切にした視点は「被災者の目線に立って考え、行動する」ことです。災害時のみならず、普段のボランティア活動と同じように、相手の生きていいく力、本来もつている力、自立意識を減少させない姿勢が必要です。とりわけ東北の方の粘り強さ、これまで長い歴史の中で培われてきた地域力、生活力、文化は、最も尊重すべきものであります。が、私達は、それをどうだけ理解しながら、被災者的心に寄り添えたかは反省すべき

3月11日に発生した東日本大震災においては、今尚、地域再生、生活再建に向けて、復興の道を歩み続けています。本紙面は、県内の社会福祉協議会による支援活動を通じて見えてきた課題等の一部を紹介します。

点があります。

災害ボランティアセンターと民生委員児童委員との連携

東日本大震災では、困っている方はたくさんいるけど、ボランティアは余っている。困っているけど、支援してほしいという声（要求）となつていい、といった状況が多くみられた。

災害ボランティアセンターにおける、住民のニーズ把握の際に、地元の言葉や地理、要支援者の状況に通じた人材が不足していましたため、民生委員・児童委員との協働は、被災者の潜在化しているニーズの掘り起こしに、大変に有効がありました。今後、役割分担、協働のあり方等を明確にしていく必要があります。

サロン活動の重要性を再確認

（平成23年4月中旬）岩手県山田町社協の職員とともに、山田

震災発生後の民生委員活動について ② 被災地社協への支援活動を通じて見えた課題

静岡県社会福祉協議会

町民児協会長とお会いし、避難所における「ふれあいサロン」の協働実施を依頼したところ、「亡くなつた仲間もいる。身内を亡くし、避難所生活を余儀なくしている仲間もいる。」「今は、とてもじやないけど、仲間に声を掛けることすらできないよ」（平成23年5月中旬）再び岩手県山田町へ支援活動に入ると、そこには、民生委員さん達が主体的に「ふれあいサロン」を運営する姿があった。

孤独感の解消、余暇の充実及び介護予防といった平時ににおけるサロン活動は、災害時にも被災者のメンタルケアやニーズ把握において重要な役割を果たすことが再確認されました。一方、サロン活動において、被災地域を含む、どの地域でも課題としてあがるのは「参加者の固定化」です。地域のサロン活動の存在を知っていても参加しない層（外部の人との交流を望まない方を含む。）に対しても、どのように働き掛けしていくかは大きな課題です。

また、地域の生活課題には、自力で問題解決に向かえない状態にある人の問題など、地域であつても見えにくいものが多く、この潜在化した課題をどのように見つけ出るか、掘り起していくかが重要です。そして、発見したニーズを再び潜在化させないため、解決すべき課題としてとらえ、関係者間で共有し、解決に向かう仕組みづくりを日常生活圏域で進めていく必要があります。

ひろば

見逃さない運動は近助の力で



掛川市
民生委員児童委員協議会
袴田 豊昭

3. 11東日本大震災（地震・津波・原発）後、対応に対する諸問題が毎日のように報道で映し出されています。民生委員とすれば、災害時一人も見逃さない運動の事が頭に浮かび悩み続けております。私は、新人の方には民生委員の仕事は1期3年を3つに分けて、理解して頂きたいと思っております。民生委員として、基本的には、掛川市全体で統一して家族状況調査表の整備、要援護者等の実態について前期の民生委員から申し送られた事を理解し、又、行政の高齢者支援課と自治区民の調査票とを照合し、自治区要援護者を理解し、避難支援計画に反映させ、同時に地区防災計画の中にも書き入れたいと願っています。

今一番頭を悩ませているのが、発災時に自治区に手を貸してくれる人がどれだけいるかということです。しかし、自治区をよく見まわしますと、結構適材適所の人がいるのです。その方々は老人会に入っている人（先輩地区民）で、その方々の持っている技量を活かして手を貸していた、だければ鬼に金棒です。そのような方々に「災害時一人も見逃さない運動」を理解して頂き、自助・近助・共助で初動時に備えられたと思うのです。

しかし、その方々にも福祉行政と付随事項等も理解して頂かなければなりません。そのことを徳と考え、その徳を説く事が民生委員に与えられた職務と考えております。相談の案件は、手早く行政に繋げることが必要であり、また、担当地区のよき相談相手となつてほしいのです。

最後に、自分の担当地区での屋号・大字・字を理解できれば自分の活動もスムーズに行なう事が出来るのではないかと思います。

地域における見守り活動



沼津市
民生委員児童委員協議会
桐澤 勇

沼津市大平地区は、人口4,200人、世帯数1,300戸で三方を山に抱かれ自然に恵まれた地域である。

少子高齢化が進み65歳以上の高齢化率は30%となっている。現在、災害時の支援や見守り活動は、民生委員・地区社協・自治会等と協働し、「大平安心くん」を立ち上げ活動中ですが、課題もあり見直しが必要となっています。

地区社協では、今年度の視察研修を横浜市旭区・二街地区のサロン活動を研修し、意見交換を実施したところです。この地区の団地では、65歳以上の高齢化率は36.5%に達し、支援や見守り活動が必要不可欠となっている。そのため、民生委員が中心となり、誰もが安心して住める地域づくりを目指し、要援護者支援制度を作り、孤独を防ぐ活動を進めている。

地域と共に



西伊豆町
民生委員児童委員協議会
堤 節子

西伊豆町の民生委員として、住民が「安心とやすらぎのある生活が出来る」町づくりを目指しております。

また、活動の指針として、社会福祉の精神を心に刻み、地域をよく知り、地域の方々と共に成長し、よき理解者として活動を進めいく事と考えております。

今回は、当協議会が地域で行う活動の一つとして、通学合宿を紹介させていただきます。通学合宿は、児童の健全育成並びに地域活動に対する住民の参加を願い、町内各地で開催しております。

この共同生活で気付かされたのは、子供たちが年齢の違う児童や仲間たちと一緒に生活することで、我慢したり、お互いの事を思いやることを誰に指示された訳でもなく、自然と行っていたことです。

また、通学合宿ならではの体験がいくつもあり、その中でも地域の方々やボランティアの方との関係も深められ、お互の心の豊かさに触れながら地域の事を知る機会となつていると共に、参加する大人たちも子供を知る良い機会となっています。

この素晴らしい体験を生かして、今後も啓発活動やいろいろな活動をきっかけ作りに積極的に取り組んで行きたいと思つておられます。

民生委員活動を通して



下田市
民生委員児童委員協議会
高橋 忍

下田市は、伊豆半島の南部東側に位置しており、開港の歴史に彩られ、近代日本にいの明をもたらした港と海と山に囲まれたいで湯のまちです。わが児童協は、民生委員53名、主任児童委員3名で活動しており、毎月の定例会のほか、多くの行事を実施しております。また、部会においては、委員相互の交流を深めるとともにさらなる知識を磨き、日常の民生委員活動面に備えております。

通年行事の中で、私がもつとも大切であると考えている行事の一つに、施設への奉仕作業があります。それは、作業の場が委員同士の交流の場でもあるからです。各人が抱えている問題や不安等、思ひぬ相談や提案等が聞かれ、それがきっかけで親しさが増し、友好的で有意義な時間となつているからです。何よりも大事なのは、このような機会が行政への橋渡しのきっかけとなり、様々な案件が大事にいたらずスムーズに解決できたという経験は、私の大切な宝となっています。

現在、全国的に後継者難であるといわれている民生委員・児童委員ではありますが、このような活動の中で解決した案件についてともに喜びを分かち合い、仲間意識を高めていくことが大切であると感じています。今後も様々な活動を通じて委員同士の相互理解を深め、民生委員活動につなげていきたいと思います。

日々感じている事



御殿場市
民生委員児童委員協議会
大西 昌世

思ひぬ原稿の依頼に驚き戸惑いながら、感じていることをお話しいたします。

委員をお引き受けした当初は、何をしたらよいのかと不安ばかりでした。アンテナの低い私は、ゴミ出しや買い物の途中などに、近所の方々から色々な情報を提供していただく事が多く、皆さまに助けられています。結局、自分の出来る範囲でしか行動できないと、自分の今までの生き方を変えることなく現在に至っています。

また、人生の先輩と接する時、支援するというよりは、あんなふうに素敵に年を重ねられたらしいなと感じています。これは同じ民生委員の方々にも共通するものがあり、日々の出会いに感謝しています。

昨年の震災で当市は震度5を観測し、今までに経験したことのない揺れでした。そ



島田市
民生委員児童委員協議会
坂本 厚

東日本大震災から1年3ヶ月が経過しましたが、復興は遅々として進まず、震災によつて発生した大量のガレキが被災地の復興を妨げている状態が依然として続いております。そんな中、島田市がガレキの受け入れにいち早く手を挙げたことは非常にうれしく思つております。

世間では、「絆」「つながろう日本」といった合言葉があふれ、多くのボランティアが被災地に向かい復興支援に向けたボランティア活動に汗を流しましたが、このガレキ処理に係る一連の報道等を見ていると、「絆」「つながる」といった合言葉が薄っぺらい言葉に思えてなりません。今回の東日本大震災は被災地だけでなく、日本が受けた被害として、一人一人が復興に向けて協力し合わなければならぬはずなのに。

地域における民生活動においても、ガレキの件と同じように感じる時があります。以前の「向こう三軒隣」の気持ちが薄れ、「隣は何をする人ぞ」が増えてきています。活動内容も多様化且つ複雑化してきましたが、今こそ「困った時はお互い様」の考え方を改めて認識しなければならない機会であると感じています。

困った時はお互い様

平成24年度関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会発表要旨

「地域社会での孤立・孤独をなくす

静岡県民生委員児童委員協議会常任理事
長谷川 佐

1. 焼津市民児協の状況

法定地区民児協数
：12地区

民生委員兒童委員數：245名

部会組織編成：7部会

(1) 本市の課題

② 中心市街地の高齢化が著しい
一人暮らし高齢者の日常生活上

④ 一ノ暮れに高齢者の日常生活の のちよつとした支援の必要性

③海岸線と山を有しているため津波とがけ崩れの心配

2. 市民児協の概要

(1) 「重点推進目標」「セーフティ

ネットの推進強化

①高齢者の日常生活の支援を必要とする者

②独居高齢者の孤立死をなくす
とした見守り活動の推進

③高齢者・児童等に対する虐待防
止活動の進展

止活動の推進

⑤児童等の登下校時の見守り役の推進（6月中旬・一斉活動日）

4. 高齢者を守る取り組みの具体例

②訪問・見守り活動を通して、顔の見えるつながりを持つ。
③災害時要援護者の避難支援のための個別計画にも活かす。

(3) 市民児協が進めていく「高齢者の見守り活動」

(2) 要援護者を中心とした高齢者世帯への日常の訪問活動の強化

(3) 市民児協が進めていく「高齢者の見守り活動」

① 世帯家族調べにより、各家庭や個人の状況把握をし、要援護者のリストを作成し、日常の友愛訪問に活かす。

② 訪問・見守り活動を通して、顔の見えるつながりを持つ。

③ 災害時要援護者の避難支援のための個別計画にも活かす。

3. 高齢者の安心・安全を守る具体的な取り組み

5. 今後の取組について

しづおか県民児協だより第24号をお届けします。

また、自然災害に対する不安を感じている高齢者も多く、避難支援を含め、自主災会とより一層の連携・協働をしていかなくてはならない。いずれにしても、向こう三軒両隣、隣近所同士のつながりを深め、共助の関係作りを強めていく必要性を感じる。

また、アンケート調査の集計結果より、高齢者の日常生活上のニーズや実態が明確になつたので、今後の市民児協や地区民児協としての活動指針として考えていきたい。

誌が少しでもお役に立てればとの
思いで編集委員一同頑張つていろ
所存です。

連載の「ひろば」などで県内他
地区の活動の様子の一端を知つて
いただき、日頃の民児協活動の參
考にしていただくとともに、掲載
の情報を読みいただき、委員と
しての資質向上に努めていただけ
れば幸いです。

なお、掲載内容等についてご要
望ご意見がありましたら、遠慮な
く事務局までお寄せください。御
活躍をお祈りします。

誌が少しでもお役に立てればとの
思いで編集委員一同頑張つていろ
所存です。

連載の「ひろば」などで県内他
地区の活動の様子の一端を知つて
いただき、日頃の民児協活動の参
考にしていただくとともに、掲載
の情報を読みいただき、委員と
しての資質向上に努めていただけ
れば幸いです。

なお、掲載内容等についてご要
望ご意見がありましたら、遠慮な
く事務局までお寄せください。御
活躍をお祈りします。

事務局からのお知らせ～お詫び～
第23号厚生労働大臣表彰者の市町訂正
仁科政巳様（×熱海市→○沼津市）
萩野隆子様（×沼津市→○熱海市）

(越)